

ブランドをつくる！？

## オリジナルグッズ販売体験！

今回の課題では、あなたのオリジナルグッズを、  
オンライン上で販売します！

まずはあなただけの「ブランド」を立ち上げてみましょう。  
「ブランド」のテーマをもとに商品をデザインしてもらい  
ます。

また、今回のゴールはあなたの商品のターゲットに  
向けて「宣伝」をして、買ってもらうことです。  
買ってもらうためには、どんな宣伝が効果的か？  
一緒に考えていきましょう！

### 【今月の課題】

- ①オリジナルブランドを考えよう！
- ②ブランドのテーマをもとに、販売するものを考えよう！
- ③グッズのデザインをしよう！

チャレンジ：グッズを宣伝して、買ってもらう！



# ★グッズをつくるときの「きまりごと」

はじめに、6つのアイテムのなかから作りたいものを選んでください。  
1コ〜3コまで、アタムで販売することができます！



Tシャツ・パーカー



グラス



スマホケース



アクリルキーホルダー



クリアファイル



ステッカー

今回はグッズがひとつ売れるごとに  
**報酬（ほうしゅう）**がもらえます。

【報酬（ほうしゅう）】  
商品が売れたときに  
もらえるお金のこと。



Tシャツ・パーカー  
グラス  
スマホケース

ひとつ売れるごとに  
**500 円**

アクリルキーホルダー  
クリアファイル  
ステッカー

ひとつ売れるごとに  
**200 円**

## 販売できるアイテムは3つまで！ 組み合わせは自由！

＼いろいろな種類のグッズを売りたい！／



＼同じ絵でいろいろなグッズを売りたい！／



＼同じグッズをいろいろな絵で売りたい！／



### 注意

「ひとりでもっとたくさんの絵・種類を販売したい」  
「別のアイテムも販売したい」  
…そんな人は、  
おうちの人と相談して、  
自分だけの「SUZURI」ページを  
作ってみましょう！

## 著作権（ちょさくけん）を守ろう！



著作権（ちょさくけん）という、  
作品の「作者」を守るための法律（ほうりつ）があります。

「まんが」「アニメ」「ほん」などの  
だれかがすでに作ったキャラクターをもとにして  
かいたイラストは、売ることができません。

また、キャラクターを使っていなくても  
だれかの絵の「なぞりがき（トレース）」や  
「模写（もしゃ）」を「自分で作った！」と発表  
してしまうと、著作権（ちょさくけん）  
の侵害（しんがい）になることがあります。

自分でかんがえた「オリジナルのイラスト」を  
提出してください。

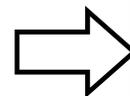
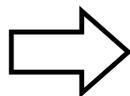
実際に、賞をとった絵や漫画が、  
だれかの作品の「マネ」だったこと  
から、トラブルになったこともあるよ。  
「なぜ、他のひとの絵をマネし  
て発表・販売」することが  
ダメなのか？一緒に考えてみよう。



童話や昔話などの  
「古い作品」は、  
モチーフにつかえることが  
あるから、先生に確認してね。



## グッズを販売するまでのながれ



### ①グッズイラストを完成させよう

「どんなひとに買ってもらいたいかな」  
「どんなグッズを作りたいかな」  
先生や友達と一緒に考えながら、完成させましょう。

### ②申込（もうしこみ）をしよう

おうちの人に手伝ってもらってグッズの販売登録（とうろく）をしましょう。  
8月15日が最後のしめきりです。

### ③販売が始まったら宣伝してみよう

申込が早かった人から順番に販売をはじめます。（申込から1~2週間待ってね）  
販売が始まったら、先生が販売ページを教えてください。家族やお友達に宣伝してみましょう！

申込開始日  
6月20日

申込のしめきり日  
8月15日

販売期間  
7月1日-10月31日

## ①ブランドをつくろう

### 「ブランド」って？

ブランドとは、その商品やサービスに「固有の名前」をつけたものです。

ブランド名・ロゴ・シンボル・デザインなどを組み合わせて「ブランド」にしていきますが、ブランドの設定をしておく「これは私が作ったものです」ということを、相手に伝える良い手段になります。

また「ブランド名」があることによって、ファンが名前呼びやすくなり、認知の輪がどんどん広がっていきます。「ブランド」の設定は、商品の宣伝をする際にも効果的です。

#### ブランド名

スペースアタム

#### テーマ

アタムくんってなにものなの？  
をキーワードに、  
キャラクターブランドをつくる。

#### ロゴ・シンボルマーク



#### マスコットキャラ



いつものアタムくんに  
宇宙服（ヘルメット？）を被せる

# 作家の名前を「ブランド」にする

今後も「作家活動」をしていきたい人は、作家名自体を「ブランド」にしてみてもいいかもしれません。

## ブランド名

カワサキナツミ

## ターゲット層

年齢 20～40代

性別：女性

## テーマ

デザイン × イラスト・アートを軸に、  
作家カワサキナツミとして  
デザイン、アート作品を発表するブランド

## モチーフ・作風

主に人間・動植物を描く。  
シンボルマークのように、デザイン的なデフォルメを行い、  
曲線で「ゆるいバランス」をつくる。

## 活動・発表場所

個展やデパートの催事会場で  
アート作品やハンドメイド作品の販売。  
SNS（インスタグラム）の活動を通じて、  
知ってもらう機会を増やしている。

まだ活動をしていない人は、これからどういうふう  
に活動したいかを書いてみましょう。  
活動スタイルから、宣伝方法を考えていくことができます。

## ロゴ・シンボルマーク



## マスコットキャラ

なし

## ②ブランドのテーマをもとに、販売するものを考えよう

グッズごとのデザインやターゲットなどを細かく決めていきましょう。

選んだアイテム

グラス

ターゲット

アタムの生徒・保護者・先生

使うモチーフ

アタムくん・惑星・隕石・星座

使う色

黒

デザインメモ

黒一色で線画を作る。  
飲み物の色で、絵の印象が変わる  
ようにしてみる。

選んだアイテム

パーカー

ターゲット

アタムの生徒

使うモチーフ

アタムくん・ロゴ

使う色

赤・黒

デザインメモ

外で着るものなので、  
アタムくんを知らない人からみてもおしゃれ  
になるよう工夫。ロゴは大きく見せる。

アイテムによって、用途が異なるので、  
イラストやデザインを変えてみても面白い  
です。

思いついたことはメモしておく、  
アイデアの引き出しになるので、困ったら  
ワークシートを活用してみてください。

## ③グッズのデザインをしよう

選んだアイテム

グラス

ターゲット

アタムの生徒・保護者・先生

使うモチーフ

アタムくん・惑星・隕石・星座

使う色

黒

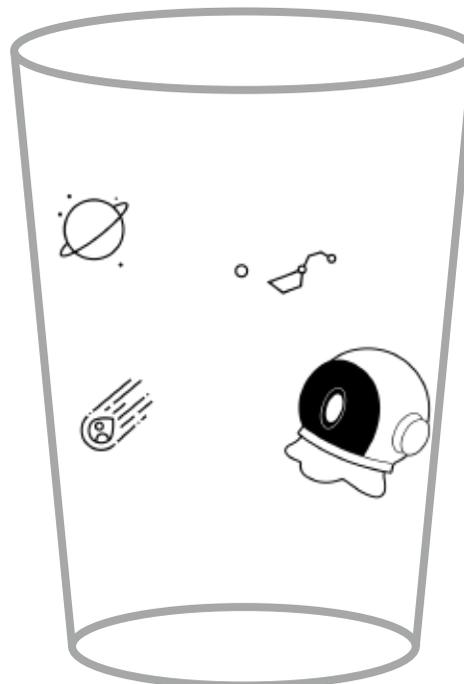
デザインメモ

黒一色で線画を作る。  
飲み物の色で、絵の印象が変わる  
ようにしてみる。

言葉でメモしたものを、簡単な絵に起こしてみましょう。  
ラフの案はいくつも作ってOK。



イメージイラスト



### ③グッズのデザインをしよう

どんなものを作るか決めたら、  
テンプレートを使ってグッズのデザインをしていきましょう。  
テンプレートはアタムのブログで配布しています。

テンプレートがなくても描けるけど、新規キャンバスの作成方法が  
わからない人はぜひ使ってください！



テンプレートの見本

テンプレートの中には、注意  
書きがあるものもあります。  
よく読んでから、描いていっ  
てください。

※このテンプレートの  
両端（りょうはし）に大事（だいじ）なモチーフは  
描（か）かないようにしてね。  
うまくプリントできないことがあります。

## 透明（とうめい）グラス



### プリント範囲（はんい）

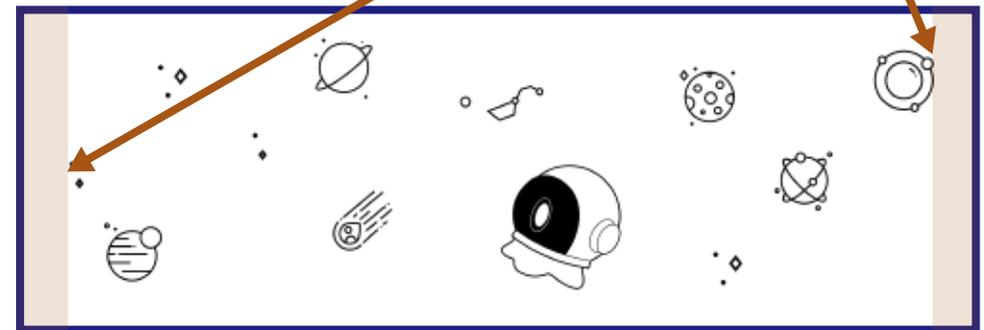
ヨコ 3102 × タテ 1055 px

グラスのまわりにぐるっと一周プリント  
できます。正面にワンポイントだけのデ  
ザインもできます。



ぐるっと一周するデザインにする  
場合、端（はし）には、大事なモ  
チーフを描かないように注意！  
うまくプリントされないことがあ  
ります。

「透明（とうめい）」なグラスにデザインする  
としたら、どんなものを作りますか？  
飲み物を注ぐ前、注いだ後のことを想像して、  
グラスならではの表現にチャレンジしてみ  
てください。



## スマホケース



スマホケースは、たくさんのデザインを見かけますよね。「外で使ったときに、ひとの目をひくデザインにしよう」「毎日使うから、あきないデザインにしよう」など、使う場面を想像してデザインしてみましょう。

スマホケースは、2つのタイプから選べます！

### ウラ面のカバー

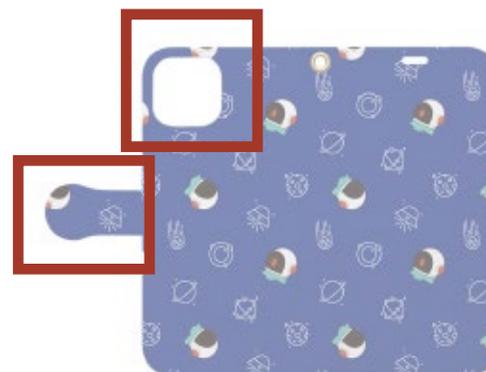


### プリント範囲（はんい）

ヨコ 1616 × タテ 2721 px

カメラの位置に注目！  
スマホの機種（きしゅ）によっては、カメラの面積が広いものがあります。ここに大事なイラストがかぶらないように気をつけてください。

### 手帳型（てちょうがた）カバー

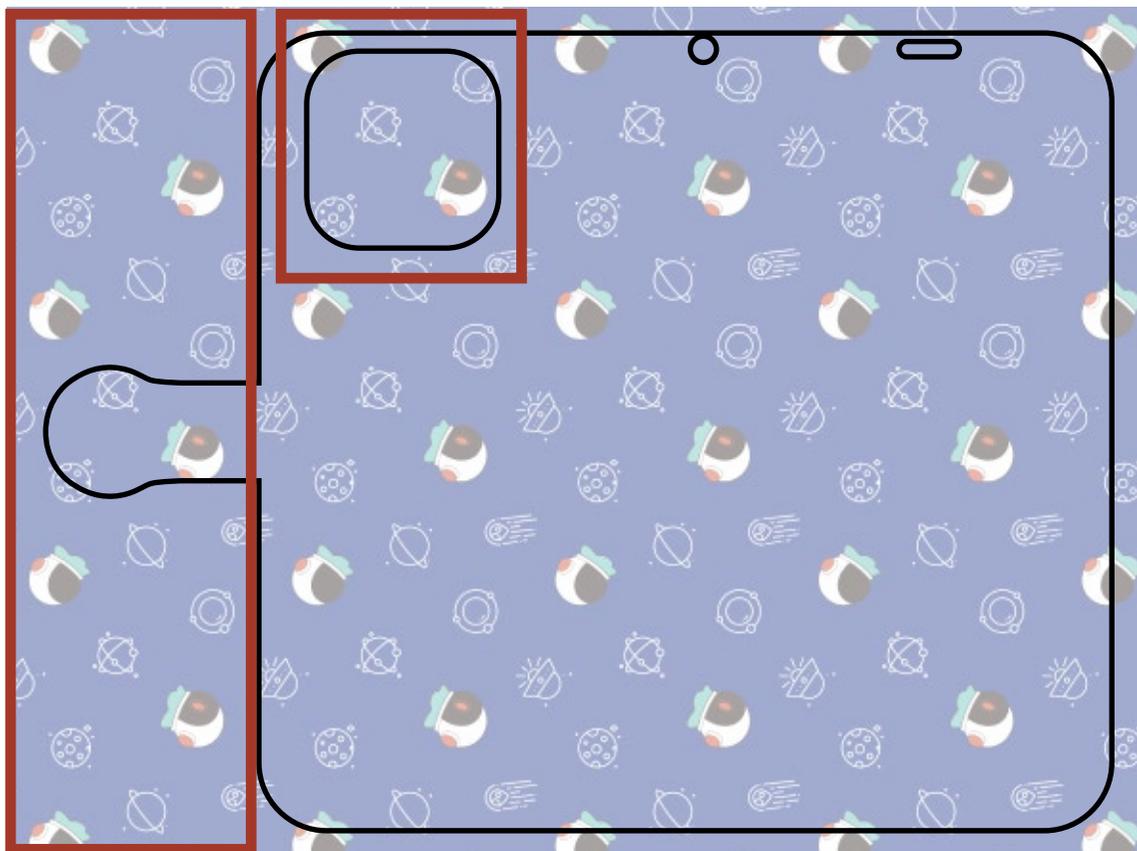


### プリント範囲（はんい）

ヨコ 3402 × タテ 2551 px

手帳（てちょう）型のスマホケースは、ボタンにもプリントできます。

## スマホケース 手帳型（てちょうがた）はココに注意！



カバーをとじるボタン部分と、カメラ部分は、イラストがプリントされない部分があります。

### ヒント

モチーフを規則的（きそくてき）に配置する「パターンレイアウト」や、お花柄などの「もよう」や、抽象的（ちゅうしょうてき）なイラストは、カメラ位置などがあまり気にならないかも…？

(例)



しの先生のデザイン



## アクリルキーホルダー



プリント範囲（はんい）

ヨコ 860 × タテ 860 px

ガラスと同じ透明（とうめい）素材ですが、バッグやポーチなどにつけられ、家の外でも活躍（かつやく）します。

キャラクターイラストも映（は）えます。

シンプルな線・シンプルな色のアタムくんも、ちょっとオシャレに見える…？

## ステッカー



キーホルダーと似たアピールができそうですが、用途（ようど）が変わると、描きたいイラストやデザインも変わるかもしれません。ステッカーは、「貼る」アイテム。ステッカーならではの使い方を想像してみましょう。

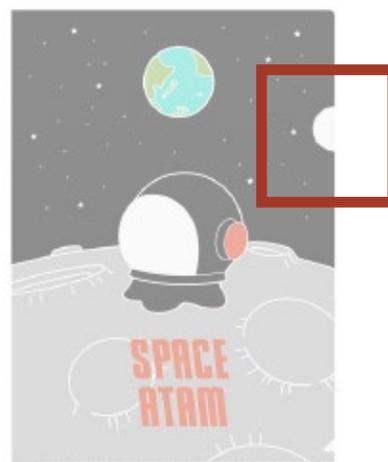
プリント範囲（はんい）

ヨコ 630 × タテ 630 px

## クリアファイル



A4サイズの紙が入るクリアファイル。  
一枚絵をプリントしても見ごたえがあります。

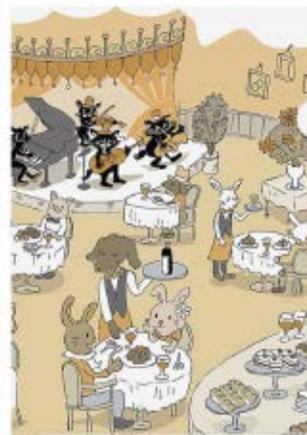


プリント範囲（はんい）

ヨコ 3073 × タテ 4330 px

ウラオモテにプリントできます。

オモテ側には、中の紙をスムーズに取り出せるように、切りぬかれている部分があります。はしに大事なモチーフを描かないようにだけ注意してください。



ものがたりのような一枚絵、柄もの、キャラクターのみなど、  
いろいろなデザインに合う！

## Tシャツ・パーカー



イラストが、「布」にプリントされます。  
身につけるものは、着る人以外の誰かの目にも  
つきやすく、いいアピールができそうですね。  
また、文字（ロゴ）を入れても「オシャレ」な  
デザインが生まれるかもしれません。



Tシャツ・パーカーの  
プリント範囲（はんい）

ヨコ 2520 × タテ 2992 px

★範囲内（はんいなし）  
であれば、イラストの  
高さ・幅（はば）・大きさは  
自由に変えて OK！



ワンポイントデザイン  
もできる！



タテ長じゃなくて、  
正方形にしてみても OK！

## ★デザインのヒント



背景に色は欲しい？  
いらない？

ヒント

背景を「透過（とうか）」してみよう



多くのアイテムは、画像データの色がそのままプリントされます。  
背景を残したままのデザインが自分のイラストにしているのか、それとも背景は透明の方がいいのか？完成をイメージしながらデザインを決めましょう。



グラスに使うイラストを透過してみるとどうなるかな…？  
違いはわかるかな？

**ヒント** クリアなそざいは、こんな表現もできる！

背景の「透過（とうか）」を応用すると、「飲み物の色」がそのまま「イラストの色」に！  
飲み物の色で印象がかわるデザインにできます。



黒い線＋色ぬりなし



白い線＋色ぬりなし

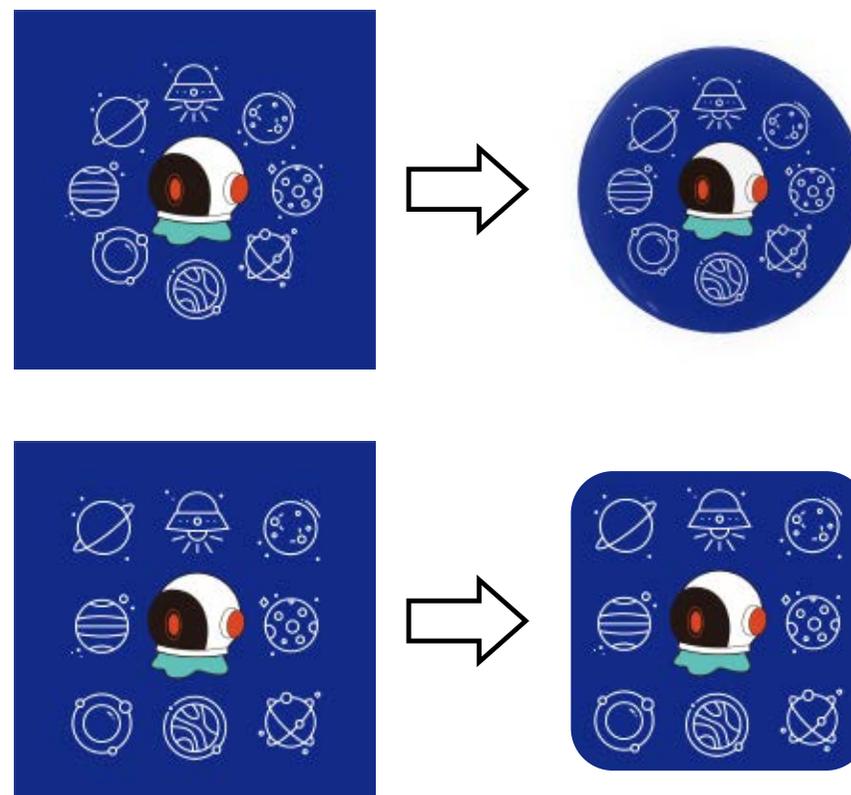
## チャレンジ

## デザインにあわせた「かたちのきりぬき」



キーホルダーなどは、背景を「透過」していれば、自動でかたちを切り抜いてくれます。背景があっても、切り抜きたい形に合わせて「透過」すれば、右のオレンジ背景の画像のような形に切り抜くこともできます。

背景を描いていても、イラストやデザインにあわせて形を切り抜くと、より魅力的な作品になるかもしれません。試してみましょう！



あなたの思いえがく「ブランドのイメージ」や「テーマ」に沿ってデザインできるのはどっちだろう？



同じキャラクターをつかいながら、  
デザインを変えて違うアイテムをつくる

キャラクターブランドなどは、キャラクターやデザインに共通点がある方が、望ましいです。

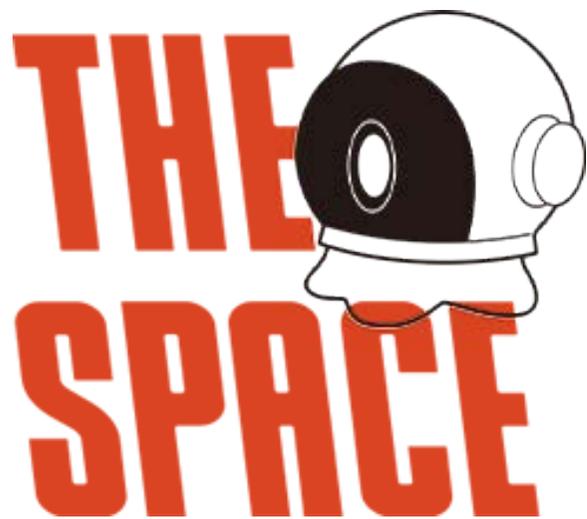
キャラクターグッズとして販売するとき、お客さんからみても、同じシリーズだ！ということがよくわかります。

全く違うイラスト・デザインで  
違うアイテムをつくる

キャラクターなどのシンボルではなく、用途を考えてそれぞれ違うデザインにするときや、作家としてグッズを売り出したいときに効果的（こうかてき）ですね。

すでにファンがついている状態なら、「この作家さんが好きだから」というだけで買ってくれることがあります。ファンに向けたアイテムにしたい場合や、これから自分のファンをつけたい場合、このスタイルにぜひ挑戦してみてください！

同じイラスト・デザインで  
違うアイテムをつくと…？



そのシーズンの「コレクション」のよう  
に見せることができそうですね！  
テーマを「アイテムに合わせてイラスト  
をデザインすること」にしている場合は、  
別々のイラストを用意する方がいいかも  
しれませんが、ブランドとしての「アピー  
ル力」は高いです。



# チャレンジ：グッズを宣伝して、買ってもらおう！

商品を使ってもらいたいひと（ターゲット）に「どうやって」知ってもらい、買ってもらうか。を考えます。  
ターゲットに合わせた「宣伝方法」を考えてみましょう。

宣伝方法は大きく2種類に分けられます。

## オンライン

ネット広告・自分のウェブサイト・  
SNS・テレビCM などなど

## オフライン

DM（はがき）・新聞への広告・ポスティング・FAX などなど

どれだけ優れた作品を作っても、消費者に存在を知られていなければ、購入されることはありません。  
商品にあった方法でアピールして認知を促進できれば、売上アップにつながりやすくなります。



## オンラインでの宣伝

エリアの限定がなく、広い地域に宣伝ができます。  
目についた人が、すぐにアクセス・購入できるメリットもあります。さらに、SNSにアップする場合は、「拡散」を促せると、売上アップのチャンスが増えます。



## オフラインでの宣伝

エリアが限定されますが、家族・友人などの身近な人やご近所さんに、直接宣伝することもできます。会話などのコミュニケーションから買ってもらえることもあります。

※SNSでの宣伝は、見てもらうのを「待つ」ということになります。  
自身からよりアピールが必要なときは、知り合いやターゲットにあったお店へのDMやポスティングなど「攻め」の宣伝を行ってみましょう！

# ワークシートの見本

宣伝の場面

学校

媒体（ばいたい）

ポストカードにして配る

誰に宣伝する？

ともだち・学校の先生・家族

販売する目標数

5こ

作戦

買ったことを教えてくれたら、特典をつける。  
どんどん紹介してもらえるように、ひとりに何枚か配布する。  
家族と〇〇くんと△△先生は買ってくれそうだから、必ず声をかける。  
学校でポスター掲示ってもらえるかな？確認してみよう。

必要な情報

- ・テキスト「アタムくんってなにものなの？」
- ・ロゴ
- ・説明
- ・「グッズ販売中！」
- ・QRコード

イメージイラスト



WHO ARE YOU?

アタムくん  
ってなに  
ものなの？

サイトにて  
グッズ販売中



SUZURI 公式サイト

スペースアタムとは、アタムが宇宙から来た「悪いやつ」だったかもしれないというテーマのイラストがグッズになって登場！使いやすいグッズが盛り沢山！



## 要素（ようそ）の組み立て



### メインビジュアル

キャラクターを目立たせると、「キャラクターグッズ」を販売している、という印象になります。

### キーワード

ブランドの「テーマ」などをキーワードとして使う。読んでもらいたい文字を大きくしたり、色を変えたりすると、より目をひきます。

### ロゴ

どこかにロゴが入っていると、「商品」「ブランド」というイメージが付きやすいです。

## 要素（ようそ）の組み立て



### メインビジュアル

キャラクターではなく、「アイテム」のビジュアルにすると、販売しているものや、ターゲット（買ってもらいたい相手）がよりわかりやすくなります。今回の場合、スマホケースを探している人に向けたビジュアルになっています。

### キーワード

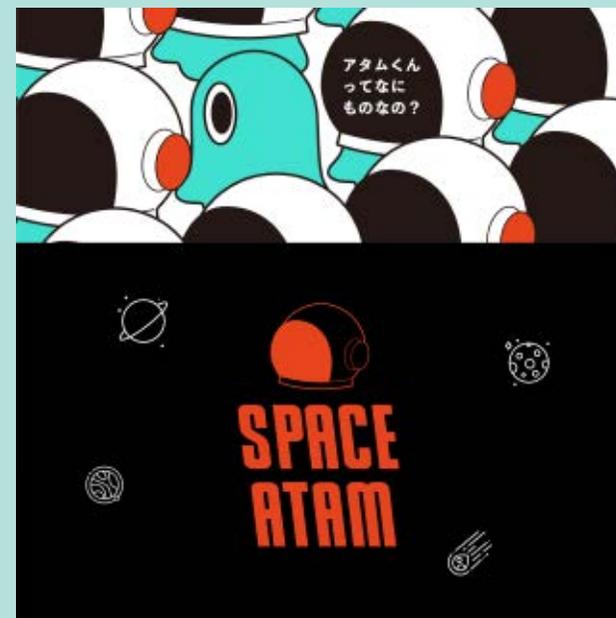
このグッズの「テーマ」がわかりやすい言葉選びをしてみました。これも誰に向けた商品か、誰に買ってもらいたいかを考えられていると Goog!

### ロゴ

「アイテム」のビジュアルにすると、ブランドという印象が弱くなるため、目につきやすい部分に配置してみました。

## 要素（ようそ）の組み立て

SNS やメッセージアプリなどで送りたいときは、画像とテキスト情報をわけて送れるため、画像に 入れる情報を少なくできます。

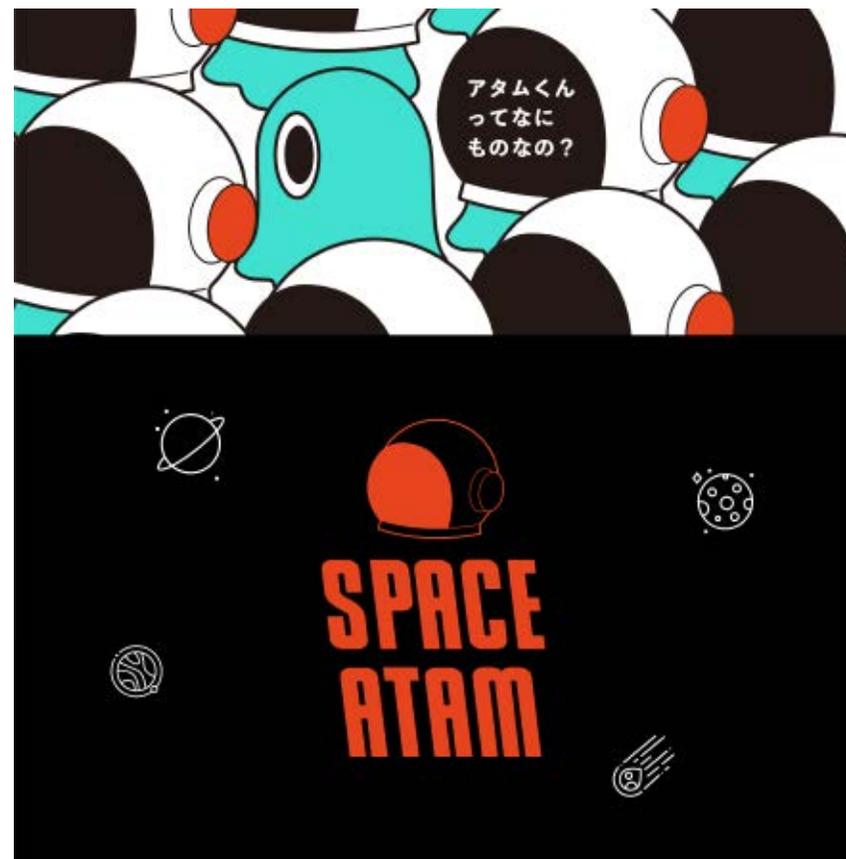


このように、まずは相手の目にとめてもらうために作られたビジュアルを「アイキャッチ」といいます。アイキャッチには、インパクトのあるビジュアルや、短く読みやすい文字をレイアウトしてみましょう。かんたんな紹介画像と思ってもらうとわかりやすいかもしれません。

## 要素（ようそ）の組み立て「デザインのちがい、わかるかな？」



最低限、必要な情報だけにした、スッキリ、みやすいデザイン。これ一つで伝えたい内容がわかるようになっていて、ターゲットに対して親切的なビジュアルです。  
身近なひとに送る場合、もうすこしフランクに「買ってね！」などのコメントがあってもいいかも？



ロゴの他に、なにかストーリーがはじまるかのようなテキストを配置し、「気になる」仕掛けがあるデザイン。  
相手が「なにか気になる」「引っかかる」気持ちになると、メッセージを読んで、通販ページにアクセスしてもらえるかも？